

留学生の日本語能力向上のための効果的な教育法をもとめて(その3)

—本短期大学留学生に対する実践報告—

Efficient Methods For Improving Japanese Proficiency Results in International Students

～ Nagasaki Junior College survey results ～

日本語教育研究班 縣 恒則・小嶋 栄子

I. はじめに

われわれ日本語研究班は、2004～2005年度にかけて、留学生に対するより良い日本語教育のカリキュラム作りの研究を行い（小嶋他2006）、そこで得られた知見をもとに2006年度よりそのカリキュラムを土台とした教育実践を開始している。

2006年度の第一報では、日本語教育現場において能力の異なる個々の留学生を相手に、どのようなレベルの学生にどのような指導法が効果的であったのか、という視点からの実践報告を提示した。2007年度の第二報では、どのような教材をどのように活用したかという点に重点をおいた実践報告をし、そのまとめでわれわれは自身の考え方を次のように延べた（縣他2008）。

「教材は『それを 教えるもの』ではなく『それで 教えるもの』である。われわれ指導者は、効率よくしかも定着力の高い日本語教育を施さなければならないことはもちろんであるが、日本語本来の使い方や、日本語が内包する日本事情・文化の指導も重要であることを忘れてはならない。」

第三報の本研究のスタンスも第一報と第二報の考え方に基づいた実践報告である。本稿では、留学生の学習意欲を高めるための指導法に重点をおいた実践を報告する。

II. 平成20年度本学1年次留学生に対するカリキュラムの内容と学生の実態

本学の平成20年度英語科授業科目「専門教育科目」の中で、留学生1年生が履修する主な科目は以下のとおりである。

日本語表現法AⅠ・AⅡ（2単位）【初級】【中級】【上級】

日本語表現法BⅠ・BⅡ（2単位）【初級】【中級】【上級】

日本語会話AⅠ・BⅠ・CⅠ・DⅠ・EⅠ（各2単位）【初級】【中級】【上級】

日本語会話AⅡ・BⅡ・CⅡ・DⅡ・EⅡ（各2単位）【初級】【中級】【上級】

日本事情Ⅰ・Ⅱ（2単位）【初級】【中級】【上級】

日本文化論Ⅰ・Ⅱ（2単位）【初級】【中級】【上級】

上記のカリキュラムの編成にあたって、入学直後に行われる日本語能力判定テスト（日本語能力試験3級レベル）に基づいて、初級・中級・上級の3クラスに分けたクラス編成となっている。2006年度までは、留学生が30名前後であったため中級と上級の2クラス編成であったが、2007年度以降はその数が大幅に増加したために3クラス編成となっている。

平成20年度当初の1年次留学生各クラスの人数・国籍内訳は以下のとおりである。(他に交換留学生としてフランス人1名が初級クラスに、スペイン人・中国人各1名が上級クラスに在籍した。また前期のみ科目等履修生として韓国人2名が上級クラスに在籍した。)

【初級】13名(中国13名)

【中級】21名(中国21名)(前期の途中で1名退学)

【上級】33名(中国28名、韓国4名、ミャンマー1名)

Ⅲ. 留学生の学習意欲を高めるための指導法を求めて(「中級クラス」実践: 縣)

留学生の学習意欲を高めるためには、教科書を教えるのではなく、教科書で教えることが重要である。教科書で教えるために、教師が教科書を留学生の実態に応じて、担当している留学生向けの教材に再構築し教材化しなければならない。

例1 「テーマ別中級から学ぶ日本語」(KENKYUSYA)第2課「つたえる」に次の問題がある。

B-1 「～よう」という言い方を練習しましょう。

例: 昔からの友だちから招待状が来ると、家族のだれかが結婚するようです。うれしいです。

→昔からの友だちから招待状が来ると、(家族のだれかが結婚するようで、うれしいです)。

1. あのひとと話をする、妹と話しているようです。うれしいです。

→あのひとと話をする、_____。

2. あのレストランがなくなると、家がなくなると。さびしいです。

→あのレストランがなくなると、_____。

3. 手紙が来ないと、わすれられたようです。かなしくなります。

→手紙が来ないと、_____。

4. この音楽を聞くと、国へ帰ったようです。楽しくなります。

→この音楽を聞くと、_____。

5. あのひとに会くと、母に会ったようです。元気になります。

→あのひとに会くと、_____。

これは、第1課で学習した比況の「よう」の発展学習である。第1課では、例えば「かわいい女の子を見たとき、『人形のように』と言います」のように、「～とき、『～のように』と言います」という型を通して、決まった「よう」の言い方を学んでいる。この課では、「暑くて夏のようだ」のような決まった言い方だけではなく、「～ようで」の構造理解の練習問題である。

上記の問題は、二つの文を「～ようで」を使って一つの文に作り換えることを通して、「～ようで」の用法に慣れさせようとするものである。

この場合に、例文が載っているので機械的に問題を済ませないように、さらに各問題文を十分理解しながら一文化を図るようにさせるために、問題文に適当な修飾語を挿入させることとした。このことは学生の能力差も配慮したつもりである。学生の回答例を若干挙げたい。

1. あのひとと話をする、妹と話しているようです。うれしいです。

留学生の日本語能力向上のための効果的な教育法をもとめて（その3）

→A 1 クラスメートのあのひとと話をすると、かわいい妹と話しているようで、とてもうれしいです。

→A 2 美しいあのひとと話をすると、故郷の妹と話しているようで、とてもうれしいです。

2. あのレストランがなくなると、家がなくなるようです。さびしいです。

→A 1 あのレストランがなくなると、自分の家がなくなるようで、とてもさびしいです。

→A 2 いつも彼女と食べたあのレストランがなくなると、二人のデートの家がなくなるようで、たいへんさびしいです。

3. 手紙が来ないと、わすれられたようです。かなしくなります。

→A 1 中国の彼女の手紙が来ないと、私をわすれられたようで、とてもかなしくなります。

→A 2 母からの手紙が来ないと、故郷の母からわすれられたようで、とてもかなしくなります。

4. あのひとに会々と、母に会ったようです。元気になります。

→A 1 ときどき道で会うあのひとに会々と、ほんとうの母に会ったようで、とても元気になります。

→A 2 あのひとに会々と、死んでいる母に会ったようで、元気になります。

この学習活動は、いかにも楽しそうに生き生きと取り組んだのが印象的であった。各自に適当な修飾語を付けさせただけであったが、次のような効果を生み出すことができた。

1. 「ようで」の形式的な構造理解にとどまることなく、機械的理解を深めた。

2. 学生の日本語能力に応じた問題に転換することができた。

3. 修飾語を付けるということは、各自の生活状況等に基づいた修飾語を付けることであり、各自の身近な出来事を思い起こしながらの学習となり、楽しさや学習への興味・意欲が明らかに増したと見受けられた。

例2 例1の第2課「つたえる」には次の問題がある。

B 招待状を書きましょう。

_____様

しばらくごぶさたしておりますが、皆様、_____でしょうか。いつもいろいろとお世話になっております。

さて、今度_____ことにしました。お忙しいとは思いますが、_____たいと思いますので、是非_____てください。お待ちしております。


日時_____

場所_____


月 日

これは、この課での結婚式の案内状を読んでいるので、その発展として簡単な案内文を実際に書く問題である。そこで、学生には日本の郵便はがきに書くことを想定し、次のようなはがき裏表の問題に組み替えた。

(はがきのフォーマット)

<p>()様</p> <p>()の季節を迎えました。</p> <p>しばらく御無沙汰しておりますが皆様() ()でしょうか。いつもいろいろとお世話になっております。私は()です。 さて、このたび()する ことにしました。お忙しいとは思いますが、 ()たいと思っております。是非()てください。 お待ちしております。</p> <p>日時() 場所()</p> <p>()月()日 ()</p>	<p>郵便はがき</p> <p> 50 日本郵便</p> <p>8 5 9 4 7 5 6</p> <p>佐世保市母ヶ浦53番地バ、ア、オ母ヶ浦 A105</p> <p>8 5 8 0 9 2 5</p>
--	---

こののはがき作成の一例を挙げる。

<p>(○○○)様</p> <p>(梅雨)の季節を迎えました。</p> <p>しばらく御無沙汰しておりますが皆様() お元気()でしょうか。いつもいろいろとお世話になっております。私は(元気)です。 さて、このたび(誕生日のパーティーを)する ことにしました。お忙しいとは思いますが、 (友達に会い)たいと思っております。是非(出席し)てください。 お待ちしております。</p> <p>日時(九月廿九日) 場所(九十九島)</p> <p>(六)月(廿九)日 (○○○)</p>	<p>郵便はがき</p> <p> 50 日本郵便</p> <p>8 5 9 4 7 5 6</p> <p>佐世保市母ヶ浦53番地バ、ア、オ母ヶ浦 A105</p> <p>8 5 8 0 9 2 5</p>
--	---

注：
○印は個人名
が出ないように
○印で表し
ている。

この問題を組み替えることによる授業では、次のような効果を見ることができた。

1. ほとんどの学生が、誕生パーティーの招待状作成を行ったが、具体的に自分のこととして捉え、興味を持って学習に取り組んだ。
2. はがきの冒頭に書く季節のあいさつ言葉について指導し、それについて考え書き表すことができた。
3. 上の例にもあるように、横書きの文章に漢数字を用いる学生がいたので、算用数字と漢数字の書き方について指導することができた。
4. はがきの表の住所や名前のバランスのとれた大きさや配置については、習慣上の違いもあり、上の例のように徹底するのがむずかしい。見本を数枚提示することによって、これは解消できた。

例3 日本語能力試験や日本留学試験の対策としても、いろいろなテキストを利用しているところだが、これらの問題をそのまま活用するとともに、問題文を学生の生活や環境等に近づけて作り替え、取り組ませている。このことによって、テキストの解答に頼ることを防止するとともに学習意欲の喚起に役立てようとするものである。

「完全マスター 2 級日本語能力試験文法問題対策」（スリーエーネットワーク）の次の問題について実践を述べる。

4. 次の文の _____ 上の言葉（ことば）と同じ意味で使われているものはどれか、a.b.c.d.e の中から選んで、その記号を（ ）の中に書きなさい。

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1) 天気予報によると、あしたは雨が降るそうです。 | () |
| 2) アメリカ大陸はコロンブスによって発見された。 | () |
| 3) 不注意によって大事故が起こることもある。 | () |
| 4) 問題は話し合いによって解決した方がいい。 | () |
| 5) 習慣は国によって違う。 | () |
| | |
| a. オリンピックの様子は衛星放送によって、世界中に送られた。 | |
| b. その事故は 16 歳の少年によって起こされたそう。 | |
| c. 鈴木さんによれば、問題は解決したそう。 | |
| d. 食べ物の好みは、人によっていろいろだ。 | |
| e. たばこの火の不始末による火事が増えている。 | |

この問題の指導では、まず次のことを指導し確認した。

- ・ 1) の「によると」は伝聞の根拠を表すものであり、後に「そうだ」がくること。
- ・ 2) の「によって」は動作の主体を表すものであり、コロンブスが発見したということ。
- ・ 3) の「によって」は原因・理由を表すものであること。
- ・ 4) の「によって」は手段・方法を表すものであること。
- ・ 5) の「によって」は、……に応じて（それぞれ異なる）ということ。

この問題の学習の後、さらに次のような自作の問題に取り組ませた。

- | | |
|--------------------------------------|-----|
| 1. 先生 <u>によって</u> 紹介された市立図書館へ行ってみよう。 | () |
| 2. 先生の話 <u>によると</u> 、今度の試験は難しいそうだ。 | () |
| 3. 国による習慣の違いを感じますか。 | () |
| 4. メールによる連絡がいちばん早いですね。 | () |
| 5. 煙草 <u>による</u> ガン患者は多いです。 | () |

いずれの問題も学生の生活に直接関係のある内容であり、例えば「3」に関しては、「佐世保では、どんな違いを感じますか」と発問することによって、具体的な事例を挙げ、話の仕方の学習へと発展させることができた。また、「5」については、煙草を吸う学生に対して忠告めいた話をする光景も見られた。

以上述べたように、教科書をそのまま活用するのではなく、担当する学生の能力や生活状況などの実態を勘案して、教科書を教材化することが重要である。

IV. 「買い物実習」による「作文力」の獲得（「初・中・上級クラス」実践：小嶋）

「作文」の基本は、自分の体験すなわち「ある日・ある時・ある場所のできごと」を忠実に言葉で再現することから始まる。またそのことによって「文字・語彙力」も高まっていく。

留学生たちに日本語で作文を書かせる時、最初は「あなたの自己紹介をしなさい」「あなたの夢や希望について書きなさい」などというテーマを与えることが多い。そして、その次の段階になると、各種研修旅行や交流会の感想などを書かせるといういわゆる「感想文」的なものを書かせてしまうことが多くなる。研修旅行も交流会も留学生たちにとっては「授業」の一部であり、そのことについての「作文」をと促しても、なかなか意欲が高まらない。「おもしろかった。楽しかった。ためになった。」という画一的で羅列的な作文になってしまいがちである。

そこで、「買い物実習」という実践を通して、留学生たちの学習意欲を高めながら「作文力」を確実に身につけるきっかけとなる実践を行った。

「買い物実習」の実施要領は以下の通りである。

- 1、指定された日時に指定されたコンビニエンスストア前に集合する。
- 2、出席確認をし、学生一人当たりに210円を手渡す。
- 3、210円以内で購入できる品物を買ひ、レジできちんと（店員さんとの対応）精算し購入後は店を出るように指示する。（コンビニエンスストア側にはあらかじめ、留学生が「買い物実習」の授業で買い物に来ることを伝えてあった。）
- 4、買い物終了後、レシートを集め、購入した品物を確認する。

以上の実習を体験した後、次回の授業で「『買い物実習』について、購入した物の名前となぜそれを購入したのかという理由を書きなさい。」というテーマを与えて作文を書かせた。指導者側の思惑通り、学生たちはそれまでの作文を書いている時とは明らかに違う嬉々とした表情で作文用紙に向かった。これは数値で測定することのできない「指導者が感じた学生たちの学習意欲の高まり」である。以下に初・中・上級それぞれのクラスの学生の作文（部分）を示す。（すべて原文のまま）

【初級】 学生A（女子）

12月17日、LAWSONにかいものへいきました。私たちはLAWSONへいきました。先生は私たちに210円あげました。せんせいは私たちにかいものをよんでください。みなさん、自分のすきなかいものでした。私は梅干しにかいました。私の好きでした。先生はしんせつな人でした。私はうれしいでした。これは先生にありがとうございました。

【初級】 学生B（男子）

12月20日に 朝 私は小嶋先生にお金を210円もらいました。それから 自動車学校のとなりのコンビニで買いものをしていました。私は チョコレートを買いました。店員に話すといっらしやいませいを言いました。私はこれはおねがいしますと言いました。店員に190円になりました。私は店員に200円をあげました。店員に200円をお預かりします、そして 10円をお釣しです、ありがとうございます、私はありがとうございますと言いました。このチョコレートは妹にプレゼントをあげるつもりです。先生、どうもありがとうございました。

【中級】 学生C（女子）

先週の木曜日午前10時半ごろ友達と一緒に寮から出発しました。自転車でローソンに行た。先生にお金をもらいました。210円です。ローソンに飴とかアイスクリとか中国の豚まんとかプリンとか、いろいろな食べ物がありました。たくさんの好き物がありました。どちらが買いていいですか。頭が思っとても痛くなりました。最後飴が買いた。これは、私が一番好きな物から。

買い物実習は大好きです。みなさんはとてもなりました。

【中級】 学生D（男子）

私購入した物はジョージアコクノアルカフェオレです

あの日の朝寒むかったですので彼女の手冷たかった、彼女をあたためるためにジョージアコクノアルカフェオレを買いました。暖かいものを飲みましたから、元気になりました、買い物実習とても楽しかった。いろいろに習いました。先生から210円もらいました。120円に使いました、あと90円のつり残りました、彼女に没収しました、泣くなりました。彼女は鬼にようぼうになるかもしれませんね…、私の将来どうすればいいの。恐わい…

【上級】学生E（女子）

今度の買い物実習では、私はサンドイッチとジュースを買いました。でもお金が足りませんので、Sさんに50円をもらいました。前の日はアルバイトがありますので、夜遅く寝て朝英会話もありますから、朝ご飯は食べてなかったまま、学校へ英会話を受けに行きましたから、それを買いました。

今度の買い物実習では私はただ一言言いました。（中略）でも、ただ一言を通じて、私はいつでも、どこでも、誰でも、誰かが何かをしてくれたら、必ず感謝の気持ちをこめて、一言でもいいし、言葉で表します。

【上級】学生F（男子）

私の買ったものはニクマンでした、なぜならニクマンを買いましたか、日本にきて以来、はじめてニクマンを食べました、ニクマンは中国ですごくやすいですから、いつもこの食べものは人気があります。でも日本のニクマンは中国より大小といい、値段といい、どちらも高い、それで食べたかったんです、でも日本のニクマンは本当においしかったです、ちょっと小いけれど、おいしかったですと思います。平日ニクマン食べたことはないから、こんなきかいをもらって本当にありがとうございます。

大学や短大などの高等教育機関の留学生は、様々な場面で作文を評価される。日本語能力試験には作文の試験はないが、日本留学試験には「日本語『記述』問題」がある。これは、「外国人留学生としてわが国の大学（学部）等に入学を希望する者について、言語の形式に係る能力及び論理を構築する能力を測定すること」を目的としており、他の「読解」、「聴解」、「聴読解」とは別に、「文法的能力」3点満点「論理的能力」3点満点の計6点満点で評価することになっている。（すなわち日本留学試験では、「日本語『記述』問題」を文法的能力と論理的能力に限定して評価をし、受験者の意見・主張等についての評価は行っていない。）

長谷川等(2007)は、日本語非母語話者の作文に対する評価の調査において、分かりやすい文章であると指導者（日本語教師）から評価された作文は、文法面へのコメントでは低評価の文章との差はなく、構成面へのコメントでは低評価のものより肯定的コメントが多かったという結果から、「(作文の)評価の高低を決定づけているのは文法ではなく、作文の構成の善し悪しであると考えられる」と述べている。

今回の買い物実習の作文を、文法的能力という面から評価すると、上級クラスの学生E・学生Fはほとんど間違いがなく、初級クラスの学生A・学生Bには単語そのものや助詞などの間違いが非常に多い。つまり上級クラスと初級クラスの能力の差は明らかである。けれども論理的能力という面から評価すると、上級クラスの学生E・Fはもちろん、初級クラスの学生A・学生B及び中級クラスの学生C・Dとも「購入した物の名前となぜそれを購入したのかという理由」がきちんと述べられている。すなわち学生たちの論理的能力には、初級・中級・上級クラスの学生たちの間にほとんど差はなかったということになる。このことから、初級クラスの学生も文法的能力を確実に身に付けることができれば、より高い評価を得られることができるようになると考えられる。学生たち

の学習意欲を文法的能力の向上の方に向けさせることが重要であると考えられるのである。

V. まとめ

第二報でわれわれは「留学生たちが真のアカデミック・ジャパニーズを身に付けることができる教育をするためには、良い教材に加え、それをどのように指導するかという教師の力量も必須であるということを肝に銘じなければならない。」と述べた。本稿では、この教師の力量の一つに学生への意欲の持たせ方も含まれることを前提に、留学生の学習意欲を高めるためにどのような実践をしたか、しなければならなかったか、という観点に注目して報告をした。

学習意欲は留学生たち誰もが持っているものであるが、それをうまく引き出すことができるかどうかは指導者側の力量に関わっている。とくに本短期大学の留学生たちのように、入学時の日本語能力が比較的低い学生たちにとってはその比重が大きい。さまざまな教材の内容を効率良く定着率高く学生たちに施すために、われわれ指導者は常に彼らの学習意欲を奮い立たせる努力を惜しんではないのである。

参考文献

- 縣恒則、小嶋栄子、松永宏之 2007「留学生の日本語能力向上のための効果的な教育法をもとめて ―本短期大学留学生に対する実践報告―」『長崎短期大学研究紀要』第19号
- 縣恒則、小嶋栄子、松永宏之 2008「留学生の日本語能力向上のための効果的な教育法をもとめて（その2） ―本短期大学留学生に対する実践報告―」『長崎短期大学研究紀要』第20号
- 国際交流基金 2002『日本語能力試験出題基準【改訂版】』凡人社
- 小嶋栄子、縣恒則、松永宏之 2006「より良い日本語教育のカリキュラムを目指して ―本短期大学日本語関連科目担当教員に対するアンケート調査からの事例報告―」『長崎短期大学研究紀要』第18号
- 日本学生支援機構 「日本留学試験(EJU)」<http://www.jasso.go.jp/eju/index.html> より
- 長谷川哲子等 2007「『分かりやすさ』を決める要因は何か? ―どのような文章が分かりやすいと評価されるか―」「2006年度第10回日本語教育学会研究集会講演要旨」『日本語教育』134号、日本語教育学会

（本研究は、長崎短期大学平成20年度傾斜配分研究費の助成を受けて行った。）